

2023 年 11 月 10 日

通貨ニュース

メキシコ：利下げ開始を意識し始めた Banxico

メキシコ中央銀行(Banxico)は 9 日、金融政策決定会合を開催し、政策金利(翌日物金利)を 11.25%で据え置くことを全会一致で決定した(図表 1)。これは、本欄及び市場予想通りの結果だ。なお、据え置きは 5 会合連続だ。前回 9 月会合の議事要旨においても高金利を長期に渡って維持する必要性が強く説かれており、今回会合の注目点も政策決定そのものではなく、声明文の内容といった中身であった。かかる中、声明文では、「インフレ目標を達成するために政策金利を現在の水準にしばらくの間維持することが必要」との政策金利のフォワードガイダンスが記載されており、前回は「長期間」とされていた箇所が「しばらくの間」に変更されている。「より長く」のステージで明確に前進し、利下げ開始を意識し始めた文言変更と考えられる。

懸案のインフレ動向について Banxico は、「デシインフレの進行を認めた」と好感している。物価動向に関し、消費者物価指数(CPI)は総合ベース、コアベースともに 2022 年後半にピークアウト、足許では順調に伸びが減速している(図表 2)。会合同日に公表された 10 月 CPI は、+4.26%(前年比、以下同様)と 9 月(+4.45%)から減速した。内訳を確認すると、コア財(+6.20%→+5.64%)がインフレ鈍化に大きく寄与した格好だ。総合ベースでは、Banxico の目標レンジ(前年比+3%±1%)にああと一歩といった水準だ。鈍化の遅れが目立っていたコアベース(+5.76%→+5.50%)も順調に伸びを減速させており、物価の基調も下向きだ。かかる中、Banxico はインフレ見通しを小幅に下方修正した。具体的には、総合ベースの CPI 見通しに関し、2023 年 10~12 月期から 2024 年 1~3 月期にかけての数字がそれぞれ下方修正されている(図表 3)。もっとも、インフレ目標近傍に達する時期に関し 2025 年 4~6 月期で不変だったことや、コアベースの見通しに変化はないことを考えれば、それほど大きな変更ではない。Banxico も、見通しの厳しさやインフレのリスクバランスが上方に傾いていることを強調しており、一層のインフレ鈍化を確信しているわけではないようだ。

かかる中、上述の通り、Banxico はインフレ見通しの下方修正とともに、声明文においては政策金利を維持する期間に関し、上述の通り事実上短縮することを示唆した。もちろん、「しばらくの間」政策金利を維持するとしている以上、例えば次回 12 月会合における利下げ開始は予測できないが、利下げへの距離感が近くなったのは明白だ。エネルギー価格高騰や予想外に堅調な域内経済活動に伴うインフレ懸念再燃に加え、FRB によるタカ派姿勢の長期化などには警戒を払う必要があるものの、本欄では早ければ 2024 年 1~3 月期での利下げ開始をメインシナリオとしたい。

11 月に入って以降の MXN 相場は、一時 17 台前半を付けるなど堅調な推移となっている(図表 4)。11 月 FOMC におけるパウエル FRB 議長の発言が警戒されたほどタカ派ではなかったことや、労働市場の緩和を示唆する米 10 月雇用統計を受けた米金利低下が下支えとなる中、良好な市場心理を背景としたメキ

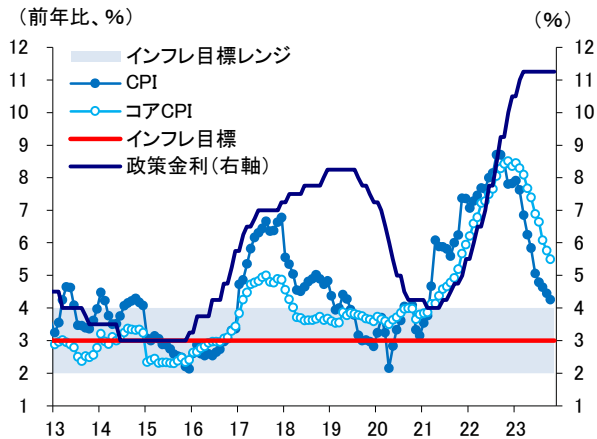
金融市場部

長谷川 久悟

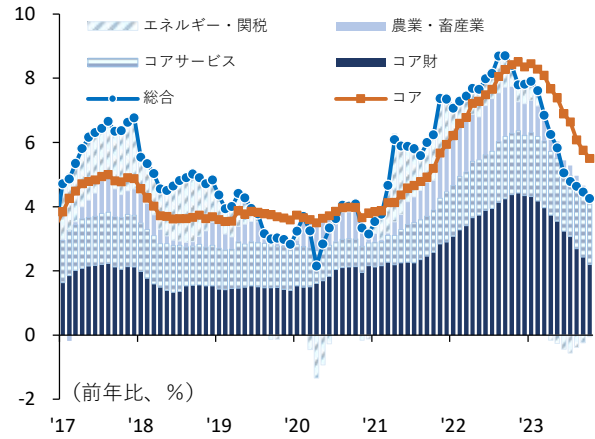
03-3242-7065

kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

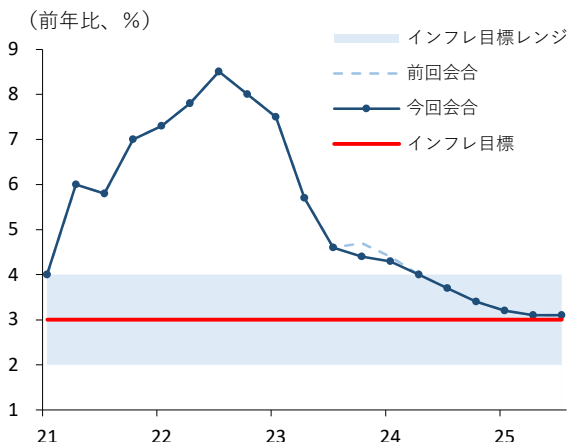
シコ株高も追い風となった格好だ。先行きに関しては、上値の重い推移を見込んでいる。Banxico のタカ派姿勢は有意に後退しており、金利面の MXN の優位性は剥落に向かおう。また、米労働市場も一定の悪化が見込まれ、海外労働送金も勢いを失う公算が大きい。投機筋によるネットの MXN 買いポジションも取り崩しが顕著であり、今後も縮小が見込まれる。ただし、米景気や原油価格の動向次第では、MXN が堅調推移する可能性もある。

図表 1: 政策金利とインフレ率


出所: Bloomberg、みずほ銀行

図表 2: CPI の推移


出所: Macrobond、みずほ銀行

図表 3: Banxico の CPI 見通し(総合ベース)


出所: Macrobond、みずほ銀行

図表 4: MXN 相場


出所: Bloomberg、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。